

2020年11月吉日

## 新型コロナウイルス感染症対応医療機関等への支援事業について

我々、公益社団法人北海道臨床工学技士会は、臨床工学技士（CE）の職業倫理を高揚するとともに、会員の学術技能の研鑽、資質の向上及び生命維持管理装置をはじめとする機器に支えられた医療・福祉の信頼性の向上に努め、もって道民の医療、福祉の進歩充実に寄与することを目的として活動しております。

新型コロナウイルス感染症において、臨床工学技士の存在が認められつつある中、生命維持管理装置の操作及び保守管理を業とする国家資格である臨床工学技士の道内での職能団体である当会は、関係団体と協力の上、道民の医療を維持するための手助けをするべく CE も支援システムを整備する必要があると考えました。そこで、CE が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に感染した場合の人員不足やクラスターが発生した医療機関への人員不足に対する支援、支援システム調整など隣接地域の相互協力を主体とした支援体制を構築する目的で、「人的支援対策ワーキンググループ」を立ち上げ、「COVID-19 透析スタッフ支援事業本部」と協力し、人工透析領域から着手したところでございます。

2020年4月10日現在、札幌透析医会、北海道透析医会、北海道透析療法学会の連名で、現時点における透析実臨床に対する対応策「新型コロナウイルス感染患者発生時における透析医療機関の対応について」が報告されております。その中で、濃厚接触者の隔離や濃厚接触スタッフの自宅待機も必要となる可能性が指摘されております。このような状況では複数人の CE が同時に不足することも想定され、多くの患者を抱えた透析医療の安定継続が危ぶまれております。

支援者本人と職場のみなさまとの“相互理解”、近隣医療施設間の”助け合い気持ち”をつなぎ合わせ、早急に支援体制を整えたく存じます。何卒、趣旨をご理解いただき、勝手なお願いではございますが、施設長とご相談の上、本システムへ「支援者登録」をしていただけますよう切にお願い申し上げます。

公益社団法人北海道臨床工学技士会 人的支援対策ワーキンググループ

委員長 小塚 麻紀（札幌北楡病院）

委員 岡田 功（帯広厚生病院）

委員 杉本 裕次（市立函館病院）

委員 関野 貴洋（名寄市立病院）

委員 西村 伸也（市立根室病院）

委員 猫宮 伸佳（市立札幌病院）

副会長 橋本 佳苗（札幌医科大学附属病院）

本件に関するお問い合わせ先 TEL 011-611-2111(31480)

e-mail: kanae.hashimoto@sapmed.ac.jp

札幌医科大学附属病院 臨床工学部 橋本佳苗まで

\*電話に出られない場合もでございます。ご容赦ください。